

令和6年度 多摩市立多摩中学校 学校評価書

学校教育目標	
自立・共生・創造	
目指す学校像（学校経営ビジョン）	
信頼と期待に応える学校　地域とともに子供を育む学校　安心・安全で、居心地の良さを感じられる学校（伝統を重んじ、自他を尊重するとともに、新しい価値を創造し、グローバル社会で活躍できる人材の育成）	
目指す生徒像	目指す教師像
・自らの問題に対し、主体的に解決しようとする生徒 ・思いやりの気持ちを持ち、地域に根ざし、他者と協働する生徒 ・想像力に富み、広い視野をもって物事を創造しようとする生徒	・研修に積極的で高い専門性と指導力のある教師 ・個を大切にし、生徒理解に長けた教師 ・柔軟性があり、マネジメント力がある教師

Ⅰ 自己評価結果と学校関係者評価の状況

(1) 確かな学力の育成

重点目標	・個別最適な学びと協働的な学びの実践を通した確かな学力の定着 ・ICT機器等も効果的に活用した指導方法の充実・改善			
評価項目 （目標とする成果・指標 %）	自己評価		学校関係者評価	
	評価	現状の分析と改善策	評価	学校運営協議会委員 の意見
【生徒アンケート】 先生の説明はわかりやすい (92%以上)	4	肯定的な評価は92.8%であり 目標を達成できたが、授業改善 を通してさらに高めたい。	A	・教員の指導について保護 者間で情報共有すると、さま ざまな意見はある。いい面だ けではなく、改善すべき点も あるのではないかな。 ・生徒による授業アンケート の結果は概ね良好である。
【全国学力学習状況調査】 平均正答率が全国平均値を上 回っている(10%以上)	4	国語と数学の平均値は目標を達 成できた。来年度も継続できるよ う指導の充実を図る。	A	
【保護者アンケート】 教員の教え方は上手であり、わ かりやすい(80%以上)	2	肯定的評価は61%。研修を通し て改善し、わからない19%への 対応として情報発信を強化する。	C	
評価のまとめ	教員の指導のわかりやすさについて、生徒と保護者のアンケート結果に差が見ら れる。今後、保護者アンケートにおいて「わからない」と回答した19%への対応とし て、ホームページや学校公開週間等の機会を活かして情報発信を強化する。			

【評語について】

自己評価			学校関係者評価	
評語	達成状況	成果指標	評語	自己評価の適切さ
4	申し分なく達成した	90％以上～100％	A	適切である
3	おおむね達成した	70％以上～90％未満	B	おおむね適切である
2	やや下回った	40％以上～70％未満	C	適切でない
1	大きく下回った	40％未満	D	評価は困難である

(2) 豊かな心の育成

重点目標	・いじめ未然防止への取組及び道徳科の授業の充実による豊かな心の醸成 ・魅力ある学校づくりを通した不登校の未然防止			
評価項目 （目標とする成果・指標 %）	自己評価		学校関係者評価	
	評語	現状の分析と改善策	評語	学校運営協議会委員 の意見
【生徒アンケート】 毎日、学校に通うのが楽しい （90%以上）	3	肯定的評価82.8%。一方で、否 定的評価も一定数あり、分析や 検討、改善を行う。	A	・不登校が否定的ではなく。 生徒や家庭によってさまざ まな事情があるので、数字だ けでは判断しにくい。 ・不登校生徒の出現率が増 加している現状を踏まえた 学校の自己評価は理解でき る。
【保護者アンケート】 わが子を安心して通わせること ができる（95%以上）	3	肯定的評価88.2%。わから ないが6%。情報発信や保護者 との連携などにもさらに取り 組む。	A	
【統計調査】 不登校生徒の出現率を減少さ せる（前年度の指標を下回 る）	2	通常学級では若干、減少し たが学校全体では2%程度増 加した。居場所づくり・絆づ くりを進める。	B	
評価のまとめ	不登校生徒の出現率を減少させることについては、生徒一人一人の状況に応じた 助言・支援や校内サポート体制の充実などに取り組んでいきたい。特に、特別支 援学級における不登校生徒の出現率が増加している点を踏まえた対応を検討し、 実行していく必要がある。			

(3) 健やかな体の育成

重点目標	・健康や体力の維持・向上に関心を持ち、主体的に行動できる生徒の育成 ・感染症等の予防について学習した内容を活かし適切に行動できる生徒の育成			
評価項目 （目標とする成果・指標　％）	自己評価		学校関係者評価	
	評語	現状の分析と改善策	評語	学校運営協議会委員 の意見
【東京都スポーツテスト】 前年度の結果を越える （半数以上の種目）	3	男子全24項目中15項目、女子 10項目で前年を超えた。特に持 久走にやや課題が見られる。	A	・概ね良好な状況にあるの ではないか。
【全国学力学習状況調査】 朝食をきちんと食べている （95％以上）	4	肯定的評価が98％。良好であ る。自力de弁当など食育の取組 も継続していく。	A	
【教職員アンケート】 健康・安全に関する生徒の意識 が向上している（92％以上）	4	肯定的評価が93.9％。生徒の 意識の向上が見られるがセーフ ティ教室などをさらに工夫する。	A	
評価のまとめ	スポーツテストは基本的に6月に実施するが、持久走については熱中症への対応 などから4月中に実施しており、この2か月の差も原因の一因として考えられる。た だし、年度の後半には持久走に関する学習を行い、改善を図っており、今後も継続 して実施していきたい。			

(4) 家庭や地域との連携

重点目標	・コミュニティ・スクールとして保護者・地域等と協働した特色ある教育活動の推進 ・SDGsの達成を目指した、環境教育や国際理解教育を要としたESDの推進			
評価項目	自己評価		学校関係者評価	
	評語	現状の分析と改善策	評語	学校運営協議会委員の意見
【生徒アンケート】 多摩中は、他に自慢できる学校である(80%以上)	3	肯定的評価81%。一方19%は否定的又はわからないと回答のため、特色ある活動を推進する。	A	・多摩中は他に自慢できる学校であることについて、否定的又はわからないという回答を減らしていきたいという学校の説明は理解できる。 ・地域と協働する取組は良くできており、今後も継続させたい。
【保護者アンケート】 学校だよりやHPを通して学校の様子がわかる(90%以上)	4	肯定的評価92.7%。特にHPのアクセス数は過去9年分の平均値の9倍であり、継続したい。	A	
【地域アンケート】 地域の人材や施設を教育活動に活かしている(95%以上)	4	肯定的評価100%。地域学校協働本部の活動を始め、地域と交流する機会が多くもっている。	A	
評価のまとめ	多摩中の特色ある教育活動への理解を深めさせたり、生徒が主体となる取組を増やすことにより、「多摩中は他に自慢できる学校である」と回答する生徒の割合を90%以上とすることを目標に、地域や保護者と協働して取り組んでいきたい。			

2 次年度に向けた学校経営の方向性、課題等

1 確かな学力の向上
・ICT機器も効果的に活用した学習指導の工夫
・校内研修やOJT研修による指導力の向上、指導法の工夫
・個別最適な学びや協働的な学びの実現を目指した授業改善
2 豊かな心の育成
・全教育活動を通じて行う人権教育や道德教育の推進
・誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える社会の形成者としての資質・能力の育成
3 健やかな体の育成
・「早寝・早起き・朝ごはん」の推奨や「給食準備キャンペーン」等による給食時間の確保
・運動習慣作りや部活動への参加の推奨
・科学的根拠に基づき適切に判断・行動できる生徒の育成
4 家庭や地域との連携
・地域学校協働本部やPTA、地域、大学等と協働した特色ある教育活動の推進
・グローバル人材の育成を目指し、環境教育や国際理解教育、防災教育を要としたESDの推進
・学校ホームページや学校公開等による積極的な情報の発信

以上のとおり報告いたします。

令和7年3月3日
多摩市立多摩中学校 校長 福田 洋一



令和6年度 学校評価書



多摩市立多摩中学校